

## ■電子情報技術科で総合制作実習発表会を行いました！

総合制作実習は、2年生の学生たちが約1年間かけて一つの制作物を完成させる授業です。4人程度のグループに分かれ、各グループが異なるテーマに取り組みました。今年度のテーマは以下の通りです。

- 可搬式赤外線射的遊戯機の製作
- 拡張現実とAIによる学習支援ツールの制作
- 学校案内を目的としたアクセシビリティの開発
- AI画像処理技術を用いた出欠確認システムの制作



可搬式赤外線射的遊戯機の製作



学校案内を目的としたアクセシビリティの開発



拡張現実とAIによる学習支援ツールの制作



AI画像処理技術を用いた出欠確認システムの制作

この実習は、学生たちがものづくりを通じて技能・技術力、課題解決力やチームワークを養う貴重な機会です。例えば、可搬式赤外線射的遊戯機のグループは、遊戯機で楽しみながら能登地方の魅力を知ることができる制作物を作り、学校案内を目的としたアクセシビリティの開発グループは、色覚や視覚が弱い方々にも優しい案内システムを構築しました。拡張現実とAIを活用した学習支援ツールの制作グループは、AIとARを組み合わせ、学習の効率を向上させるツールを開発し、AI画像処理技術を用いた出欠確認システムの制作グループは、正確かつ迅速な出欠確認を可能にしました。

2年生は穴水からの移転等で大変なことも多くあったかと思います。そのような中でも懸命に取り組み、なんとか最終発表を迎えることが出来ました。皆さん本当にお疲れ様でした！

